広報
さめがわ

昭和60年
1月号
No. 373
編集兼発行
鮫川村役場
塙町佐藤印刷所



（戸倉石尊山より石井草妙見山を望む）

暁雲の妙見山

この年の郷のみのりの豊かさを妙見山の暁雲に見む

老友らの陳情ありきいばら途いま林道は村界を越ゆ

曙峯

1月6日　消防団出初式
1月15日　鮫川村成人式
1月26日　文化財防火デー

今月の人口

（12月25日 現在）

		前月比
人口	5,567	(+11)
男	2,753	(+8)
女	2,814	(+3)
世帯	1,132	(+1)

共同募金・歳末たすけあい募金

ご協力ありがとうございました

昭和五九年度の共同募金と歳末たすけあい募金は、皆様の温かなご協力により目標を上回って達成されました。

こころから厚くお礼申し上げます。募金の額と使途区分は次のとおりです。

◆募金総額七八六、二二二円

●共同募金（県共同募金会へ）
三五五、七二二円

●歳末たすけあい募金
三七六、五〇〇円

●堀川愛生園募金（堀川愛生園へ）五四、〇〇〇円

歳末たすけあい募金は、しあわせうすい皆様に越年見舞金として右のように配分いたしました。

歳末たすけあい募金配分内訳

《居宅対象者》

種別	世帯数	対象者数	配分額
要保護世帯	19	39人	76,500円

《施設入所者》

種別	施設数	対象者数	配分額
精薄児施設	2	3人	9,000円
養護施設	1	1	3,000
精薄者施設	4	7	21,000
老人福祉施設	2	2	6,000
救護施設	1	1	3,000
医療施設	15	31	93,000
諸経費			15,990
合計	44	84	227,490

※残金149,010円は緊急配分準備金に積立。

おはなのおみ (21)

昭和六〇年代の幕ひらく



村長　石田卯子八

ここに昭和六〇年の新春を迎え、今年もまたみのり豊かに幸多き年であることを希い、皆様の一層のご健勝をお祈りいたします。

のぞみ多き昭和六〇年代がこの日から展けてゆくことになりますが、明るく平和で、人々が心豊かな生活をたのしめる年代でありたいものであります。

去る昭和五〇年代は気象異変に悩まされ、豪雪、台風、豪雨、冷害と相次ぐ災害の対応に暇もない年が続きましたが、最後の五九年だけは予想を超える豊年であったことが、せめてもの救いとなりました。

政府米は現在三三、五二六俵を算え、一〇七ヘクタールの減反をしての生産であるから、単位生産では史上最高ともいうべき収穫であります。葉たばこも耕作者が減少したなかで二億四、九〇一万円の収納代金をあげ、夏秋トマトなどの新興園芸作物も目覚ましい伸びを示しました。

四年続きの冷害に耐えて、苦心と努力をつくされた成果であって、農業者皆様に深く敬意を表すものであります。

しかしこの豊作も一面から見れば好天候の為せる豊作で、これからの毎年に期待できるものではありません。更に研讃を積み努力を重ねて技術主導型の豊作を実現させなければならないのであります。

さて、国県の財政再建も捗々しい前進は見られず、国庫補助負担の一率カットも実現そうな形勢であります。

このような情勢のなかで、わが村は昨年樹立した村振興計画の実施計画、新過疎地域振興計画の後期五か年計画の第一年次に入り、豊かな活力にみちた文化の香り高い村の建設に進む態勢下にあります。

高度情報社会に対応する村内全域にわたる同報無線の設置、農業振興の総合指導機関となる農業技術指導センターの発足など、多くの施策事業を予定しております。

昭和六〇年代に限りなき発展の願いをこめて、皆様の一層のご協力をお願いするものであります。

村税完納に感謝

昭和五九年度普通徴収分の村税は、去る一二月二六日全村完納となりました。

これで本村は、継続二八年の全村完納となり、あらためて皆様の納税に対するご理解とご協力に深く感謝申し上げます。

心あたたまる寄附

恵まれない方などの福祉に役立ててくださいと、次の方から寄附がありました。厚くお礼申し上げます。

▼大字西山字余所内
金一万円　関根市郎様
（鮫川村社会福祉協議会）

元消防団員の故舟木一美様のご遺志によりお父さんの舟木忠光様から消防団活動のため金五万円を寄附されました。

深く感謝いたします。

（鮫川村消防団）



優良材の生産をめざして

—間伐・枝打ちの講習会—

去る一二月二日と五日の両日間伐、枝打ちの講習会が山村開発センターと渡瀬区集落センターで開かれました。



▲技打ちの実技を身につける受講生の皆さん

この講習会は、毎年間伐技術の普及を目的に開かれてきましたが、今年は枝打ちの技術が加わり、内容が更に充実しました。

講師は棚倉林業事務所の技術職員で、四〇名余の受講者がありました。

特に枝打ち講習のなかでは、先進林業地域で本格的に使用されている「自動枝打ち機」による枝打ちが実演され、参加者の注目を集めました。

本村は、林業振興対策として補助事業による集団間伐事業を実施してきたが、五八年度末で二二八ヘクタールの実績をあげています。

枝打ちについては、今年度から新たに福島県優良材生産促進事業（枝打ち事業）の実施地域の指定を受け、補助事業で今年から三年間に一一〇ヘクタールの枝打ち作業を実施する計画を立てています。

これで、間伐振興対策と枝打ち振興対策を一体的に進めていくことになり、奥久慈林業地域の中核として優良材の生産が大きく期待されます。

岩野草下国民年金組合に

社会保険庁長官から感謝状

岩野草下国民年金組合は、一一月一三日に福島市で開かれた国民年金二五周年記念優良団体等表彰式の席上、社会保険庁長官から感謝状が贈られました。

この組合は、国民年金制度が初まった昭和三六年度から引続き全期前納を行っている優良組合です。長年にわたる努力の実績が高く評価されたもので大変名誉なことです。



▶感謝状をもつ組合長の松崎健一さん。

新年のごあいさつ

議長　芳賀喜一

昭和六〇年の新春を迎え、今年もまた村民の皆様に幸多い年でありますよう心から祈るものであります。

去る年は夏季の好天に恵まれまして、稲作を始めとした農作物は豊作となり、地域経済に明かるさを取り戻すことができました。

しかし、国家財政の建直し政策のため、地方財政も厳しさを増し、公共事業の抑制や福祉施策の見直しをせまられる等多難の年でもありました。

国自体においても、予鈴の長かった行政改革は、専売公社、電々公社の民営化を決定したのを始めとして、その他の行政機構の統廃合など、いよいよ実施の段階に躍み込んだ訳であります。



しかし二十一世紀に向った技術革新は着々と進み、加えて高速交通、情報化社会が大きく進とが予想されます。

このような年にこそ、情勢を敏感に受けとめ、展望を開き、一層知恵をしぼり、地域の特性に立脚した産業の振興と経済の伸展に努力しなければならないと思います。

村議会としても、村民の皆さんの声を村政に充分反映されるよう努力するとともに、研讃を積みながら村行財政の発展と、村民生活の向上のために、執行機関とも相協調しながら、議決機関の機能を最大限に発揮しつつ、村民の皆様の御期待にそうよう努めてまいります。

一層の御協力をお願い申し上げまして新年のごあいさつといたします。

今年は 国際青年年

未来を築く――それはいつの時代も青年の役割です。家庭、地域社会など青年を取り巻く〝社会〟はさまざまですが、青年が自らの意思、判断によって積極的に社会参加を進めていくことが求められています。

昭和六〇年は国連の定めた国際青年年。「参加・開発・平和」というテーマのもとに青年が社会参加をどのように進め、また自分たちに与えられた課題にどのように取りくむべきか――国際青年年への青年の主体的、積極的な参加が期待されています。



なぜ国際青年年なのか

世界には、食糧をはじめエネルギー、人口などの問題が存在する一方、世界の青年人口は一九七五年から二〇〇〇年までに七億三千八百万人から一一億八千万人に増加すると推定され、こうした青年人口の増加が、経済や社会のさまざまな面で青年に影響を及ぼすものと考えられています。

これらの問題の解決は、将来を担う若さと行動力あふれる青年に期待するところが多く、国連が「国際青年年」を設定した背景には、青年の果たすこうした役割の重要性を世界の人々に理解してもらい、また、青年自身に理解と自覚を促すことにあります。

わが国の重点目標

わが国では、「国際青年年」の重点目標に次の四つをあげています。

1 青年の社会参加の促進
2 青年の健康・体力の充実
3 科学技術や文化の発展に対する青年の理解の浸透
4 国際交流などを通じた青年の相互理解の促進

二一世紀の世界を担う青年が青年に課せられたこれらの役割、課題を認識し、その課題の解決に向けて積極的な役割を果たし地域および国の発展に、また世界の平和に貢献することを趣旨としています。



アイドル・キャラクター



「つくば'85」で未来を先どりしよう

「人間・居住・環境と科学技術」をテーマに、科学万博――つくば85が、筑波山のすそ野、茨城県・筑波研究学園都市で開催されます。

期間は、昭和六〇年三月一七日から九月一六日までの半年間で、わたしたちの豊かな生活をもたらす科学技術に焦点をあて、二一世紀の社会を展望します。〝科学万博――つくば'85〟で未来の生活を先どりしよう。

科学技術を多面的に紹介

後楽園球場のグランドの約九〇倍の広さを持つ会場は、AからHまでの八つに分けられ、国内・国外の展示館、広場が設置されます。

特に、会場のほぼ中央に当たるDブロックとEブロックには、次のような「政府出展施設」が用意されています。

▼テーマ館……各種ロボットや宇宙開発など、暮らしにかかわる科学技術の姿を多面的に紹介

▼歴史館……わが国の科学技術の発展を紹介

「政府出展施設」には、このほかに、エキスポプラザ、こども広場があります。

科学万博――3月17日開催

入場料金

大人……二千七百円（満二十三歳以上）
中人……千四百円（満十五歳以上二十三歳未満）
小人……七百円（満四歳以上十五歳未満）

■特集　今年の抱負と村への要望

われらウシ年

新しい年、昭和60年代がいよいよスタートします。

そこで、今年のエト「丑年」生まれの方々に「今年の抱負と村への要望」を執筆していただきました。

あけましておめでとうございます

昭和六十年　元旦

あけましておめでとうございます。

今年は丑年、あなたは牛というとどんな連想をしますか。のんびり、のっそり、それとも厚いビフテキ……と思いはさまざまでしょう。

そこで、歴史をさかのぼってみますと、牛は〝新技術〟だったことがわかります。

牛に引かせたすきによる耕作は、紀元前三〇〇〇年ごろ、メソポタミア（現在のイラクを中心とした地域）やエジプトで〝発明〟されていたそうです。

その後、農業のほか交通、運搬などにも牛が用いられるようになりましたが、これは、人間が自分の肉体以外の力を動力に利用した最初の試みの一つだとされています。そして、一七～一八世紀になって蒸気機関が発明・実用化されるまで、牛をしのぐ技術上の進歩は見られないといいますから、いかに長い間牛が新技術として〝君臨〟してきたかが分かります。とはいえ、最近では、めったに牛の働く姿も見られなくなりました。

さて、今年の丑年、モウ烈に生きるもよし、のんびりと人生を反すうしながら生きるもよし、ともかくも角つき合わさずに仲よくいきたいものです。



富田字二反田
松本　君子

たとえ牛のように歩みはのろくても

月日のたつのは早いもの。もうそうなったのかとこの原稿の依頼を受けた時、新たに感じました。

戦前に生まれ戦中に育ちましたが、あの頃のほうが、何か充実したものがあったように思われます。生活の基盤である衣食もままならない時代でした。しかし、心の面では豊かで温いものがあったように思われます。祖父母も父母もきびしく、どんなことにも負けず、耐えるということが大切であると教えられました。

高校を終えると女なんだから女らしいものを身につけてと、和裁を習ったほうがよいということで、その修得に専念いたしました。「芸は身を助く」「芸が身を助けるほどの不幸せ」ということわざがありますが、今は二児の母になりました。

生活の糧として和裁に専念いたしておりますが、たとえ牛の様に歩みはのろくとも、今年も健康で充実した毎日が送れるようにと針を運んでおります。



渡瀬字中山
山形　操

富田地内の県道改良一日も早く

明けましておめでとうございます。皆様方には、希望に燃えた昭和六〇年の新春をお迎えのことと思います。

年々迎えられる新たな年頭に、今年こそはと人それぞれの想いで迎えられるでしょう。私も、今年こそはと思いながら、六回目の丑年を迎えました。

今年は健康に充分留意し、社会の重荷にならぬ様生きるために、年令を考えず気分一新、ひとつの目標を立て、丑年生れの性格で辛抱強く正直に悠長に昭和六〇年を送りたいと思います。

村に対する要望については、最近村内を歩いて驚くのは道路の整備と農業基盤整備事業等公共施設が整備充実した村内様子に感心しています。強いて要望するのは、県道赤坂東野塙線の改良工事が遅々として進まずにいるのは残念です。主要な村の縦貫道です。いろいろ事情があると思いますが、村は一日も早く県に訴え早期改良されることを願います。

また、今後は行政改革により、村民の負担が少しでも軽減されるよう要望するものです。

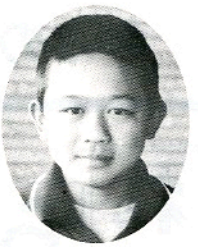
【お答】

県道赤坂東野塙線のうち、特に前沼地内の改良工事がおくれていてご迷惑をかけております。

村では再三に亘り、県や国に対し早期完成を陳情していますが、昭和五九年度からは彦次郎と前沼の両方から工事を行なうことになったので、進捗するものと思います。

特集・新年の抱負と村への要望

勉強にスポーツにがんばります



赤坂東野字官代
前田　裕徳

今年丑年は、ぼくの生れた年です。もう一二才になり、中学校へも入学するのです。ぼくはその記念に目標を立てて、努力して見たいと思います。

初めにぼくは、中学生になったら、わからない所をわかるまで、一生懸命勉強したいと思います。鮫小の他、五つの小学生がいっしょになるので、他の小学校の生徒に負けないようにがんばります。

次に、勉強といっしょにスポーツもがんばりたいと思います。ぼくは、体を動かすのが好きです。それに体が余り丈夫でないので、バレーで体を丈夫にしたいと思います。

ぼくは、鮫川村には余り働く所が無いように思います。

今度棚倉に大きな工場が出来ました。ぼくは、あれを見て、鮫川村にも出来ればいいなあと思いました。そうすれば、たくさんの人が、村を出ていかなくてもいいと思ったからです。それに、たくさんの人が、鮫川村に来るのではないでしょうか。

ぼくが大人になった時、働く所がたくさんあれば同級生達のみんなと鮫川村に残って、もっともっと発展させたいと思います。

悔はあっても未練のない24歳を



渡瀬字青生野
甲賀美智子

「抱負」と聞かれて、はっきり答えられないのが現実です。ただ、二四歳にふさわしい言動ができる人になりたいと痛切に感じます。成人すれば、それなりの義務や責任が課せられるが、自分は満足に責任を果たしていないような気がします。

でも、私個人の成長の度合いを、月日は一秒たりとも待っていてはくれません。だから、内面の本当の意味で、人として成長したいのです。人として成長することを自体、あまりに漠然としていて分かりにくいことではあるけれども、今年は私のエト、であるので、大晦日に除夜の鐘を聞きながら、本当にいい一年であったと感じて次の年を迎えられるように精進したいと思います。

悔いはあっても未練のない、そんな二十四歳にみあった一年を過ごしたいと思います。「抱負」に負けず一日一日を大切に過ごして、前進あるのみ。頑張ります。

働き続けるわが人生



西山字戸倉
関根　乙夫

新年明けましておめでとうございます。

今年は丑年、自分のエトです。私は大正一四年生、五度目の丑年を迎え還暦です。六〇年間を振り返ってみますと、忘れることのできない思い出は、戦争中のこと、昭和五十五年の大雪害その他いろいろの思い出があります。

しかし私は身体が健康で、毎日人のため、自分のため牛に似てもくもく働きつづけています。今から四〇年前、終戦直後を思いますと、想像出来ないほど日常生活がよくなり、よその町村に負けない文化教育施設、農業構造改善事業、阿武隈開発事業など、関係指導者に感謝しております。今年は丑年ですが、現在の牛の価格低迷を克服し、モウモウ高価格で子牛販売ができることを期待致します。良い年であり若い気持で頑張りたいと思います。

村に対する要望としては

一、冠婚葬祭について、葬式のお返し物、結婚式の引出物が年々高価になっている。新生活運動推進に力を入れてほしい。

二、村内農家の後継者花嫁花婿対策に努めてほしい。

【お答】

叫ばれて久しく、なかなか実効のあがらない冠婚葬祭の簡素化について、新年度から全県運動が展開されることになりました。

県市町村新生活運動推進団体連絡協議会がこのほど結成され、心のかよいあう冠婚葬祭への見なおし県民運動が実施されます。

特に、結婚披露宴の見直し、会葬の見直し運動に力を入れることになっているので、わが村でも一層努力したいと思います。

した企業が今年から工場建設を始めます。

最終的には二社で従業員を一七〇名募集する予定です。

希望をもって健康な身体をきたえ勉強にがんばってください。

還暦を迎えて
ささやかな私の願い



赤坂西野字名下
須藤美代子

月日のたつのは本当に早いもので、五回目の丑年。くしくも昭和の御代と共に還暦を迎えることができましたことは、誠に意義深く身が引き締まる思いです。小学校から青春時代を戦争の波にもまれながらも、生き抜いてきた私達の年代です。同級生の中には、終戦を目前に戦死された方もあり、心の痛みを禁じ得ません。

人生五十年が八十年の時代、老後の生活も長くなりました。これからは離れ住む子らの重荷にならない様に健康管理を第一とし、更に余生は自分の人生に悔のない充実した日々を過したいと念じております。

村へのお願いは、定期バスの確保です。苦しい財政の中から五百八十万円もの援助をし、赤字路線を支えて下さっていることも村だけの問題に止らず、大きな問題であることも存じてはおりますが、いつ廃止になるのかと思うと不安です。

還暦を節目とし、ささやかですが祈りにも似た思いを述べさせて頂きました。

【お答】

生活路線バスは廃止しないよう会社側と接渉を重ね、とりあえず廃止予定の三種路線を二種路線に引上げるなどの方法で、一年間運行することになっています。

しかし更に利用者がふえないと、また廃止になる恐れがあるので、抜本的な対策が必要です。

それで関係町村共通の問題なので、連携して検討を進めることにしています。

くじけず、たゆまず
信念に向って突進



赤坂西野字上
高坂　エイ

新年おめでとうございます。

鮫川村に迎えられて五十四年、六回目の丑年を迎えることができました。これひとえに、環境の良い村に住めるたまものと感謝しております。

過去において、関東大震災に見舞われ、不況、不作、経済恐慌、戦前戦中戦後の苦労と、物資不足のどん底から這い上って来た私達です。当時の事を現代っ子に語ると、おばあちゃん達は馬鹿だったんだネと笑うばかり。でも私は、くじけずたゆまず当時の生活の知恵を生かし、邪魔にならず又社会の公害にならない様注意して、少しでも役立ちたいと念じています。

今年は自分の年「丑年」牛の如く一歩一歩踏みしめ、かみしめ信念に向って突進する心づもりです。

村に対する要望は、老人の立場から、増え行く老人層の生きがい対策、国を挙げての問題として、青少年の健全育成について一段と御配慮をお願いします。

ほしい十字路に信号機を



渡瀬字中野
赤坂　徹弥

今年は丑年です。ぼくの家には牛が二頭います。とてもおとなしい牛です。そばに行くと喜んでよってきます。

ぼくらの学年の丑年の人は七人います。ぼくらの学校では、去年、花いっぱいコンクールで県知事賞をいただきました。

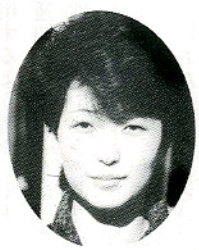
コンクールに選ばれたように、ぼく達がいっしょになって運動にぶつかっていけば、どんなことでもできると思います。ぼくたちは最高学年として、下級生のめんどうをみ、渡瀬の小学生としてはずかしくない子どもになろうと思いました。

村へのお願いは、ぼくらの学校の周りにも車が多くなり、横断する時こわいことがあります。安心して学校に行けるよう、渡瀬の十字路に信号機があったらよいとぼくたちは思っています。信号機がつくようにお願いいたします。

【お答】

この場所は国道と県道が交差する十字路なので、村では以前から信号機をつけてくれるよう県にお願いしてきました。これからも強く要請していきます。みなさんも十分交通事故にあわないよう注意してください。

丑年にちなみ
着実に一歩一歩



赤坂中野字新宿
湯坐　啓実

新年明けましておめでとうございます。今年は丑年で、私も年女です。性格はウシ年生れのせいか、のろのろゆったり型なので、今までのペースで着実に何事も一歩一歩身につけたいと思います。

主婦として、また技術者として今年はますますがんばります。今後地域商工業発展の為にもいっしょうけんめい勉強したいと思います。

石田村長さんは、豊かな明るいそして住みよい村づくりの為に日夜一生懸命に村民の幸せの為に献身的に働きになっております。全国にもめずらしい連続八期当選の村長さん、今後ともお体を充分に気をつけて限りなき鮫川村発展の為によろしくお願いします。

なお、毎年行われている村文化祭の行事、お母さんお嫁さんに感謝する会も継続して頂きたいと思います。

「春よこい 早くこい もうすぐ 一年生」

昭和六〇年度新入学児童

昭和六〇年四月、小学校に入学されるお子さんは、昭和五三年四月二日から昭和五四年四月一日までに生まれたお子さんです。

昭和五九年一二月一日現在の調べでは、入学予定のお子さんは次の八一名ですが、名前が違っていたり、もれていましたら、昭和六〇年一月二五日までに教育委員会学校教育課（電話九－三一五一）に申し出てください。

昭和六〇年度新入学児童
児童名（保護者名）



◇青生野小学校　六名

▽新妻信次（正司）▽三瓶和則（榮治）▽山形さつき（新一）▽岡部民江（利雄）▽八代りつ子（亮）▽森田多加世（政春）

◇渡瀬小学校　一五名

▽藤田和人（一成）▽藤田学志（博）▽國井敏男（清敏）▽蛭田浩寿（勝二）▽生田目一也（利夫）▽蛭田未桜（啓喜）▽佐藤五月（ヨウ子）▽芳賀由喜子（文行）▽藤田美香（甫）▽藤田恵（昌司）▽芳賀喜美江（敏彦）▽國井礼子（俊治）▽芳賀ゆかり（利弘）▽山形那緒子（郁夫）

◇富田小学校　二名

▽栗原一浩（順一）▽赤坂信太郎（一郎）

◇西野小学校　一六名

▽矢吹哲也（俊次）▽矢吹勇逸（正二）▽鈴木政博（新市）▽須藤勝広（一）▽石井洋平（良夫）▽高坂健作（仁一）▽白坂健（利幸）▽矢吹博子（肇）▽薄葉秋子（正一）▽高坂まゆみ（榮一）▽西野詞子（信美）▽高坂祥子（修一）▽鈴木麻子（徹男）▽須藤令子（一美）▽北條はるみ（政敏）▽矢吹千春（賢市）

◇西山小学校　一七名

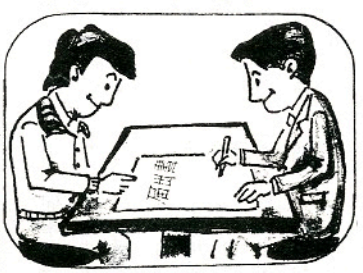
▽山本正人（勝夫）▽根本崇（一美）▽関根政市郎（信一）▽我妻伸一（康夫）▽関根孝徳（善徳）▽関根俊久（勝久）▽阿久津勝（一男）▽阿久津啓（茂）▽坂本直喜（喜一）▽水野亮達（一男）▽水野明美（一美）▽関根恵（功男）▽鈴木良子（則男）▽須藤昌子（啓太郎）▽関根利枝（正）▽関根千佳（茂保）▽関根裕美（正良）

◇鮫川小学校　二五名

▽芳賀喜徳（一）▽窪木浩一（一）▽金澤正人（吉衛）▽斉藤章（義男）▽三瓶和典（富士夫）▽湯坐義喜（好郎）▽五十嵐和則（一郎）▽中川西興信（一美）▽金澤和幸（清和）▽中川西智（美好）▽湯座和美（一男）▽工藤貴仁（貞子）▽鈴木洋平（一二）▽中川西幸枝（隆男）▽蛭田恵（晴夫）▽渡邊綾子（照美）▽前田雅美（雅秀）▽中川西純子（正夫）▽圓谷純子（實）▽芳賀幸子（邦彌）▽田子珠美（勝）▽松崎道子（文男）▽山本恵子（登）▽金澤暁恵（満）▽宗田美穂（貞雄）

土地取引きのまえに…

届出が必要です



国土は、生活と生産活動の基盤として後世に伝えてゆかなければならない大切な資源です。自然に恵まれたこの国土を守り、有効に利用するため「国土利用計画法」により、土地を取引きしようとするときは、知事に届出なければなりません。

一、届出の必要な土地取引

一団地一ヘクタール以上の面積で、その土地について売買、共有持分の譲渡、営業譲渡、譲渡担保、代物弁済、交換、各種権利の設定及び譲渡などで、契約により対価を得て行われる取引きです。

二、届出の方法

土地取引きの契約をしようとする六週間前までに、譲受人、譲渡人連名で県知事宛に届出します。

届出用紙「土地売買等届出書」は役場にあり、役場が届出の受付けをします。

三、届出の処理

県は、届出の土地の現地調査を行なうと共に、取引価格や利用目的を審査し、その取引きが適当か否かをきめます。

不適当と認められるときは、取引きの中止又は変更を届出者に勧告します。適当と認めたときは、勧告しない旨文書で通知します。この通知を受け取れば、土地取引きの契約ができます。

四、遊休土地の指定

届出をして取得した土地が、三年たっても取得目的のために利用されていない場合は県がその土地を「遊休土地」に指定し、適切に利用するよう通知します。この通知を受けたときは、その土地の利用や処分の計画を県知事に届出なければなりません。

くわしくは、村の企画調整室におたずねください。



▶佐藤画伯の作品「春暁富嶽」

みごとな日本画二点を寄附

日展入選20回の佐藤昭三画伯



鮫川村にゆかりのある日本画家・佐藤昭三画伯から、このほど村にみごとな日本画二点が寄附されました。

佐藤画伯は桑折町の出身で、日展入選二〇回を数える中央画壇の雄として現在活躍されております。ご夫人は当村のご出身で村ともゆかりの深い方です。

寄附いただいた日本画は、「春暁富嶽」と「曙紅不二」の二点で、早速役場の会議室と山村開発センターに展示されました。

文芸

— 文化祭作品より —

俳句

石ノ花　斉藤　定満
蝶二つもつれほぐれつ空に消ゆ

上　高坂　蚯切
病む孫とぬくもりながら童話読む

横　座　矢吹　茂
甘茶づる干して売られる山の秋

名　下　須藤　栄恭
こおろぎのしきりに鳴けり旅の宿

塩　倉　増子　義績
畑の日のつるべ落しに寒くなり

鮫川高　沢　草二
耕耘機に妻と蒟蒻玉を乗せ

短歌

遠ケ竜　中川西好幸
雑草もすがたととのい精一杯それぞれの花咲かせむとする

新　宿　杉山　磯子
わが庭のアララギの実の粒ら実の紅くちりばみ秋深みゆく

遠ケ竜　須藤　幸子
夕暮れの漂う庭にボール追う子らの腕は褐色に光れり

棚　橋　関根　一好
老増せる国と言いつつ若きらを先立たせむか汝ら再び

新　宿　関根　京子
定年の慰労の酒に孫たちの歌をききつつ父は涙す

大　塩　鈴木真理子
「見てごらんおしゃれしてる」と色づきし山を指さし幼子は言う

巡ケ作　鈴木　米子
「おしん」の舟置かれし最上川の舟着場そしらぬ振りしてコスモス揺れる

こんにちは
保健婦です

妊婦さんの届けはお早めに

母子健康法の定めで、妊婦さんには妊娠届を出して頂くわけですが、お早めにお願いします。

胎児は妊娠一一週（三か月）頃までにほぼ完成してきますが、この時期は、流産しやすい時期でもあります。

そのために、母親は、妊婦としての自覚が大切なのです。重い物を持ったり、転倒したりして、流産してしまうことがあります。

また、外観的には目立たないで身体がだるくなったりしますので、風邪と勘違いして風邪薬を食んだりすることもあります。そのために後から妊娠と気づき、奇形児が生まれるかもしれないという心配をしながら、一〇か月間を過ごすということにもなりかねません。

早期に妊娠届をすれば、早くから定期検診や指導を受けられるので、丈夫な赤ちゃんを生む自信ができます。

また、母子手帳を貰って、母親になる自覚がしっかりしてきます。

なお、国民健康保険の加入者で妊娠一六週（五か月）以降の方には医療費が無料になる「医療券」が発行されます。

一六週以前に妊娠届をした方には、一六週に該当する月に医療券が郵送されます。

◇　◇

妊娠の確認が必要な場合

一、生理がない時

二、基礎体温をつけている場合には、高温日が二一日以上続いた時

（基礎体温は、妊娠の確認ばかりでなく排卵日もわかりますので、家族計画にも役立ちます。しかし、欠点としては、少なくとも三か月以上つけなければ確実性にかけます。また、分娩後三か月位は、利用できないことがあります。）

農委だより

農業委員選挙人名簿
登載申請を忘れずに

農業委員会委員選挙人名簿登載申請は、農業委員会等に関する法律施行令第三条の規定により、毎年一月一日現在で一月一〇日までに、農業委員会委員選挙人名簿調査のための申請書を農業委員会を経由して、村の選挙管理委員会に提出しなければなりません。

今年も例年にならい、名簿登載申請書の配布、回収を各区長さんを通じ各組長さんにお願いしています。

一、選挙権及び被選挙を有する資格要件

㈠、鮫川村に住所を有し、一月一日現在正常な手続によって居住して、年令二〇才以上の者（昭和四〇年四月一日以前の者）

㈡、一〇アール以上の農地にき、耕作の業務を営む者、耕作に従事する日数は、年間約六〇日以上とする。

㈢、農地面積の認定については、土地台帳に登録された面積である。土地台帳に登録されていない農地については、農業委員会が認めた面積とする。

㈣、以上の者の同居の親族又はその配偶者。

二、申請書の配布、回収

該当者のいる農家一世帯につき一枚配布します。

申請書は、昭和六〇年一月九日までに組長さんがとりまとめ農業委員会へ提出することになります。

なお、この申請書は、農業委員会で審査のうえ、村選挙管理委員会に送付します。この申請書を基に、農業委員会委員選挙人名簿が作成されますので、お忘れなく提出してください。

新年のごあいさつ



鮫川村農業委員会
会長　遠藤慎一郎

新春を迎えるに当り皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。

すぎし昭和五九年は五年連続の冷害はまぬがれ、米を初め葉煙草、そ菜、コンニャク等すべての農産物が大豊作となり、農家経済にある程度の力が蓄積されたものと考えられます。これも天候に恵まれた事はもちろんでありますが、四年間続いた冷害の体験教訓が生された賜ものと皆様のご努力に敬意を表するものであります。ただ畜産物にあっては、価格の低迷等により畜産農家の経営は苦難をしいられて居ります。これも牛肉の輸入等諸条件によるものと考えられますが、之れに耐られるような足腰の強い農家経営であるよう皆様と共々努力いたしたいと考えるものであります。

農業委員会としましては、農業経営の安定を基盤とし、農家経済の向上を目指すものであり、農地の保全、農地流動化を促進、農地を高度に利用する等中核的自立経営農家の育成等々皆様のご協力をお願いし、明るい村の建設に微力をつくす所存であります。

皆様の大きなご発展をお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

畜産振興対策
現地検討会を開催

さる一二月七日、山村開発センターで、全国農業会議所主催の畜産振興対策現地検討会が開催されました。

これは全国農業会議所が毎年全国の主要個所で開いているもので、今年は「粗飼料生産確保と肉用牛経営の推進方策について」を課題とし、地域における畜産の実態と問題点を把握し、今後の畜産振興対策に資するため開催されたものです。

今年は県内で、鮫川村が選ばれ、当日は、畜産振興対策中央検討委員会委員の日本大学島津正教授が座長となり、村長、農協組合長、農業委員会長、県の畜産関係機関、団体の代表と畜産経営農家の代表（九名）の二八名が出席しました。

始めに村の畜産振興概要と農家代表者からそれぞれ経営実態の発表があり、それに対して活発な意見交換がなされ、それぞれの専門的な立場から助言指導がありました。

最後に、座長である島津教授から、総まとめとして、問題点と改善方策等の提起があり、有意義な検討会を終りました。



▲開発センターで開かれた現地検討会

公民館だより

ご成人 おめでとうございます

村が主催する第三七回鮫川村成人式は、昭和六〇年一月一五日午前一一時から山村開発センターで挙行されます。

今回は、村内に居住されている方と、村外居住者で一二月一五日までに参加申込みのあった方は、次の一〇七名の方々です。

誠におめでとうございます。

なお、参加を希望される方でまだ申込みをされていない方は昭和六〇年一月五日までに、山村開発センターへ文書で申込んでください。

◎成人者氏名（本籍小字名）順不同

『赤坂西野』

▽斉藤敏雄（酒垂）▽石井定己（虹ケ沢）▽石井正男（虹ケ沢）▽増子　学（前塩倉）▽佐藤秀子（火打石）▽佐藤文子（火打石）▽佐藤征一（火打石）▽吉田成一（上野町）▽円谷幸子（本坂）▽舟木文枝（石ノ花）▽江田昌栄（荻野沢）▽舟木明美（寅卯平）▽矢吹美紀子（石ノ花）▽矢吹　淳（塩倉）

『西山』

▽生田目晴美（大久保）▽鈴木久美子（鐘撞堂）▽根本義一（落合）▽水越麻利子（落合）▽関根みどり（押野）▽水野一郎（宝木）▽関根節子（余所内）▽関根弥伊子（西野内）▽根本正孝（岩野草）▽松崎敦子（岩野草）▽水野　充（沼野沢）▽石井まゆみ（大沢）▽関根　清（水口）▽関根晴美（戸倉）▽生田目清（菅田）▽石井健治（大沢）▽石井かおり（大沢）▽阿久津光代（折戸）

『赤坂中野』

▽高木加代子（薄ケ久保）▽高木五月（薄ケ久保）▽小滝健弘（新宿）▽高木真一（新宿）▽前田恵子（新宿）▽小林令子（伏木田）▽白坂忠夫（道少田）▽板橋二三枝（道少田）▽酒井紀代子（二本田）▽緑川典子（真坂）▽円井千春（滝平）▽円井恵美子（見渡）▽鈴木康雄（馬場）▽渡部みい子（馬生田）▽水野志津子（大塩）▽南條浩子（新宿）▽円井やよ枝（滝平）▽円井義男（取上）▽鈴木祐子（新宿）▽河野真由美（鬼越）▽円井淳子（道少田）

『赤坂東野・石井草』

▽水野祥子（広畑）▽佐藤浩子（巡ケ作）▽荒川恵治（広畑）▽窪木美穂子（広畑）▽中川西博之（内ケ竜）▽中川西敏子（内ケ竜）▽宗田隆幸（内ケ竜）▽宗田勇郎（巡ケ作）▽前田ゆかり（官代）▽中川西明美（石井）▽中川西マサ子（森ノ前）▽中川西三男（石井）▽有賀久子（小名沢）▽鈴木温子（木戸沢）▽生田目浩美（大石草）▽森祐紀子（遠ケ竜）▽有賀康仁（楢久保）▽玉木ゆかり（大根屋敷）▽吉田小百合（大房）▽芳賀啓子（大石草）▽吉田日出男（大房）

『富田』

▽長久保浩寿（中沢）▽石井直光（中沢）▽我妻利美（前沼）▽西戸勝美（彦次郎）▽赤坂富男（彦次郎）▽穂積ちい子（鍬木田）▽小川吉次（鍬木田）▽鈴木はるみ（鍬木田）▽添田浩志（鍬木田）▽松本里美（鍬木田）

『渡瀬』

▽遠藤康雄（上耕地）▽菊地辰雄（下）▽蛭田典子（田野上）▽芳賀　力（江竜田）▽芳賀和子（西野沢）▽藤田博文（関口）▽小松イチ（大戸中）▽星美智子（越虫）▽藤田敏男（越虫）▽赤坂邦弥（中野町）

『青生野』

▽棚井正治▽甲賀幸重▽本多米蔵▽岡部　瞳▽土手内隆志▽笹島敏行▽平久江光江▽生田目誠▽中島明美▽大竹良明▽岡部静子▽吉成典男▽吉成洋二

版画でつくる年賀状

社会学級青生野教室

「ことしも版画をやってみよう」「そうだなあ、もう一度やってみたいな」などの声にうながされて、社会学級青生野教室の、年賀状のための版画講座が一二月四日に行われました。講師は昨年にひきつづき、村教育委員会職員があたりました。

会場の青生野集落センターにあつまった二一名の受講生は、ほとんどが昨年経験しているので、下絵の反転、写し取り、彫り、刷りと、協力し合い、教え合いながらの、にぎやかな四時間余、すばらしい年賀状が刷り上がりました。

昨年の作品に比べ、特に細い線がすっきりと出せる様になったことと、柔らかな感じを期待してか、中間色が好んで使用されるなどが目立ち、熱気あふれる講座でした。



山形貞造さんの作品

第六回婦人講座

西野生活改善センターで

本年度第六回婦人講座は、一二月八日、夜七時から「こころ豊かな生活のために＝映画等をみて考える会」を主題に、西野生活改善センターに二五名の参加者を得て開かれました。

映画は「嫁、夫、姑」でそれぞれの立場とお互いへの対応のしかた等が提起されました。またビデオによって、「異性の友だち（小学生）」「問題のない子も問題児」をみて、常日頃みられる子どもたちの生活の中に親として、家族として見落としてはならないものがあることをあらためて知らされた様な思いでした。

この夜は八時五五分に終りました。かなり寒い晩でした。

CENSUS

1985年 昭和60年 農業センサス

昭和60年2月1日調査

調査にご協力をお願いします

農林水産省では、本年二月一日現在で我が国のすべての農家を対象とした「農業センサス」を実施します。

この調査は、昭和二五年から五年ごとに実施されているもので、我が国の農家数、耕地面積、農業経営の概況など農業の現状を明らかにし、農業に関する各種施策を推進するための大切な統計調査です。

この調査を実施するために、調査員が二月一日前後に皆様のお宅にお伺いしますので、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださるようお願いします。

なお、調査票に記入していただく事項については、統計以外の目的には一切使われませんのでありのままをお答えくださるようお願いします。

国民年金の保険料は1月25日が納期限です

一月二五日は、国民年金保険料の最終納期限です。

保険料が納まっているか、もう一度お確かめください。「納めたつもりが納めていなかった」ということがよくあります。

保険料を納めていないと、不慮の事故にあったとき、障害年金や母子年金が受けられなくなります。

あなたの大切な年金の権利を守るためにも保険料は必ず納付期限までに納めましょう。

村では、一月二五日までを国民年金保険料完納運動期間に定め、運動を展開中です。

年始特別警戒を実施

寒さが一段と厳しくなり、暖房等火の取扱いが多くなる季節です。

消防署では今年一年間無火災を目指し、一月一日から一月一〇日まで年始特別警戒を実施しますので、皆さんのご協力をお願いします。

▽たき火等をする時は、水バケツを用意し、安全な場所で行いましょう。

▽コタツ内で、石油コンロ等は絶対に使用しないこと。

▽マッチ、ライター等は、子供の手の届かない所に保管しましょう。

▽時々は風呂、カマドの煙突清掃をしましょう。

▽家庭内で、火災予防についてのお話をしましょう。

棚倉消防署鮫川分署

国税だより にせ税理士にご注意を

税金の申告手続きなどを税理士に依頼する際には、正規の税理士であるかどうか確かめてください。

にせ税理士は、法律に違反するだけでなく、納税者に迷惑をかけます。にせ税理士には十分ご注意ください。

おめでた

十一月

大塩　金澤　隆秀　父金澤広一
官澤　矢吹　聖　父矢吹幸男

十二月

落合　本郷　剛臣　父本郷臣夫
宿ノ入　大河内由紀　父大河内由夫
中内　中川西のぞみ　父中川西宏幸
青生野　鈴木　淳一　父鈴木清孝

おくやみ

十二月　年齢　世帯主

戸草　芳賀シメノ　59歳　芳賀　聡
田野上　下重タカ　78歳　下重　正

心配ごと相談

1月21日（月）
午前10時～午後2時
山村開発センター

休日の在宅当番医

月日曜	当番医院 棚倉町	塙町	矢祭町
1月13日(日)	和田	車田	
15日(火)	阿部田	根本	
20日(日)	藤田	厚生病院	
27日(日)	勝田		慈泉堂
2月3日(日)	菅原	石川	
10日(日)	薄葉		木村
11日(月)	大木	中島	

ゴミの収集日

収集コース	種別	1月	2月
江竜田～中野町～中山～田尻～彦次郎～反田～前沼～広畑～湯ノ田（可のみ）～役場～農協ストアー～保育所コース	可燃物	7.10.14.17 21.24.28.31	4.7.14.18 21.25.28
	不燃物	11.25	8.22
新宿橋～農協倉庫～給食センター～道少田～大塩～宿ノ入コース	可燃物	8.10.17.22 24.29.31	5.7.12.14.19 21.26.28
	不燃物	11.25	8.22
鮫中～真坂～寅卯平～茅～酒垂～滑石～折戸～水口～官沢コース	不燃物	10.24	7.21
越虫～青生野～葉貫～戸草～蔵の草～湯ノ田～中沢コース	不燃物	9.23	6.20
石井草～前田～鬼越～戸倉～菅田～沼野沢～岩野草～薄ケ久保コース	不燃物	4	1
官代～橡久保～遠ケ竜～内ケ竜コース	不燃物	11.25	8.22

※　休日は、可燃物・不燃物を出さないで下さい。
※　ゴミは、収集日の朝に出して下さい。